

令和3年度自己評価結果公表シート

学校法人田久保学園
みのりつくしこども園

1. 園の教育・保育目標

「明るく元気な子ども」

- ・よく食べ、よく眠り、よく遊び活動する子
- ・体を動かすことを喜び、楽しく運動する子
- ・決まりや危険な遊び方・場所がわかり、安全に気を付けて行動する子

「やさしく思いやりのある子ども」

- ・友だちと積極的に関わり、様々な感情体験を味わう子
- ・自分の思い、考えを相手に伝え、相手にも思いや考えがあることに気づく子
- ・友だちと一緒に遊びや作業を進める楽しさをあじわう子

「よく考え、工夫する子ども」

- ・いろいろなことに興味を持ち、見たり聞いたり触ったりする子
- ・身近な物を使って考えたり試したり工夫したりして遊ぶ子
- ・感じたり考えたりしたことをいろいろな方法で表現する子

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

評価項目に従って自己点検、自己評価を実施することによって、全職員が教育・保育の内容や環境の設定の改善に主体的に取り組む。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

教育・保育目標を理解し、意識して保育にあたっている。	前年度に「教育・保育計画」の見直しを行い、新年度の「教育・保育計画」をもとに学年間及び他学年とも連携を取り、保育にあたっている。
子どもの実態を的確につかみ、具体的な手立てを講じる。	保育教諭は、日々の記録を参考にして子どもの実態を把握し週日案を作成し、調整を行っている。
適切な安全対策と感染症対策の継続を図る。	死角になっているところに新たに防犯カメラを4台増設した。 新型コロナウイルス感染症の感染対策のために新たに幼児組のテーブル15台(2人で1台使用)を購入した。 また、マスク着用ができない乳児組の保育室には、エアードックを設置し、感染対策に努めている。感染症の対

	<p>応マニュアルの見直しも行いつつ、必要最小限での外来者の園舎内の立ち入り(検温、手指消毒、マスク着用)と職員や園児の健康チェック、手指消毒、マスク(幼児のみ)の着用など引き続き感染対策を行っている。</p>
園庭環境の見直しをする。	<p>園庭には、身体感覚の育ちにつながるような固定遊具を設置した。鉄棒、ジェットジム、上り棒の下に人工芝を敷き安全対策を行った。また、園庭の一部を畑にして野菜の栽培をし、食育活動に繋げている。</p> <p>年長組のサツマイモ作りにおいては、育てるスペースが園庭では確保できなくなったため、近隣の畑を借りて地域の方のご指導を受けながら行うことができた。</p> <p>園庭の環境整備は、来年度も引き続き行う必要性がある。</p>

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

令和3年度で開園して5年目となり、職員一人ひとりが目標や課題を理解し、自己評価に取り組んでいる。また、職員の努力と工夫で園運営も円滑に進められるようになってきている。

5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取組方法
園全体の教育・保育の質を高め、保育教諭の指導力の向上に努める。	園全体の質を高めるために園内研修を充実させ、園外研修への参加も積極的に行う。また、新人研修の内容と期間の見直しを行う。
安心・安全に過ごせる保育の環境を見直す。	<ul style="list-style-type: none"> ・乳児庭の遮光ネット取り付け場所の見直しを行う。 ・園庭環境と避難経路の安全確認と整備を行う。 ・物的環境を整える。
第三者評価を受け、園全体の質の向上に繋げる。	前回と同じ2月を予定して計画する。

6. 学校関係者の評価

- ・園近隣の方に降園時の保護者や子どもの声がうるさいとの苦情をいただいたが、乳児庭で遊ぶ園児に癒されているというご意見もいただいた。
- ・保護者の方から登園時の様子が密になっていて感染対策ができていないのではとのご指摘があった。